

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|----------------------|--------|------------|
| 建物名称 | (仮称)博多駅南2丁目マンション新 | 階数 | 地上15F |
| 建設地 | 福岡県福岡市博多区博多駅南2丁目 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 商業地域、防火地域、準防火地域 | 平均居住人員 | 238人 |
| 地域区分 | 7地域 | 年間使用時間 | 8,760時間/年 |
| 建物用途 | 集合住宅 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2018年1月 予定 | 評価の実施日 | 2016年5月9日 |
| 敷地面積 | 1,349 m ² | 作成者 | 宮本 晴香 |
| 建築面積 | 730 m ² | 確認日 | 2014年7月10日 |
| 延床面積 | 9,459 m ² | 確認者 | 堂園 健寿 |



| 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) | 2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート) | 2-3 大項目の評価(レーダーチャート) |
|--|--|----------------------|
| <p>BEE = 1.0 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p> | <p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p> | |

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 *Qのスコア = 2.5*

| Q1 室内環境 | Q2 サービス性能 | Q3 室外環境(敷地内) |
|---------------------|---------------------|---------------------|
| <p>Q1のスコア = 2.8</p> | <p>Q2のスコア = 2.8</p> | <p>Q3のスコア = 1.9</p> |

LR 環境負荷低減性 *LRのスコア = 3.4*

| LR1 エネルギー | LR2 資源・マテリアル | LR3 敷地外環境 |
|----------------------|----------------------|----------------------|
| <p>LR1のスコア = 4.0</p> | <p>LR2のスコア = 2.9</p> | <p>LR3のスコア = 3.3</p> |

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--|--|--|
| <p>総合</p> <p>注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物ボリュームを道路境界線よりセットバックした計画とし、周辺への圧迫感の軽減や通風・採光に配慮した計画とした。 | <p>その他</p> <p>注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p> | |
| <p>Q1 室内環境</p> <p>注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住戸の界壁・界床は、遮音性能に配慮した計画した。 | <p>Q2 サービス性能</p> <p>注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十分な階高を確保し、空間にゆとりのある計画とした。 | <p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前面道路に植栽帯を計画し、潤いのあるまちなみの景観となるよう配慮した。 |
| <p>LR1 エネルギー</p> <p>注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LED照明器具を採用し、使用エネルギーの削減に配慮した計画とした。 | <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・躯体と仕上材が容易に分別可能となっており、解体の際のリサイクル性に配慮した。 | <p>LR3 敷地外環境</p> <p>注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な量の駐車場、駐輪場を確保し、十分な幅の駐車場への進入路を確保することにより、周辺への交通負荷を軽減する計画とした。 |

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される